

展開に當つて末ソシキ大衆の組織化の見地から充分の注意が拂はれるべきである。

(4) 特に注意すべきは我々の目標とする末ソシキ大衆は飽くまで労働者農民を中心として考へなければならぬ。

(5) 小さな小さな問題でも党は全力を盡して争ふべきである。自己の日常利益のために最も勇敢に有効に争ふ、これこそ労働者の争を彼等は信賴する。そこに始めて組織化の端緒がある。

(6) 今まで党の争争といへば全市民的な又は全部の労働者に關係した問題が取り上げられ勝ちであつたが之は大衆の組織化といふ點からだけ云つても決して有効な能率ある方法ではない。我々はあつて争場の特殊な條件を把へ、その争場の労働者のために全力を盡して争争すべきである。この事は一工場の労働者の信賴を高める位でなく全市の労働者の信賴を得ることである。

(7) 勿論一工場の争争を全市労働者の争争になると考へるのは誤りである。ゆゑが全労働者の争争のみが政党的争争だと考へるのは誤りである。(8) かくる争争を通じてその工場の労働者を労働組合としてソシキし、党の影響を下に置く。然しその時の種々の状況に依つて党にソシキする事が可能なる場合は先づソシキする事を決して躊躇すべきでない。然し行く(9) は組合は組織化されたものを党にソシキし、党にソシキせられたものを組合に再ソシキすべきである。

D 戦線の戦争的統一

(一) 戦線統一の根本原則は下からの共同争争である。我が党の大衆も他党の傘下にある大衆も異つた不平不齊又は要求を持つてゐるわけではない。只異なる所は他の陣営の幹部はその大衆の不平要求のために眞実に争ふ熱意と有効に争ふ戦術と組織を持たないのに反して我々はそれを眞一文字に正しく決意と有効なる戦術と組織を持つて争つてゐる故に共同争争は可能である。(二) 我が党は大衆の要求を取り上げて果敢に戦ふことを任ふとは斯くく、争争を行ふから諸君も這入つて来いといふ様な態度は取るべきでなく先づ共通の不平不満を持つてゐる全大衆に宣傳煽動して大衆の中から争争を捲き起さしめ我が党の積極的努力によつて他党大衆と自党大衆を合志したる大衆の固である一定の具体的要求を争ひ取るための争争組織を作らしめ我が党は先づ先してその組織に参加し我が党員は全大衆の先頭に立つて最も勇敢に争ふべきである。

(三) 他党幹部が共同争争に進出して来た場合に決して初めから彼等の過去の歴史的行動を洗ひ立て攻撃する事は誤りである。それよりもその争争の過程を通じて我が党の勇敢に争ふ争争力を具體的に示すべきである。